

アセスメント・ポリシー(2022年度)

大阪キリスト教短期大学は、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの3つのポリシーに即した評価指標に基づき、学生の学習成果を可視化し、測定・評価(アセスメント)の指標を以下のように設定します。アセスメントは教育活動の改善計画の策定に活用し、教育の質の改善に継続的に取り組みます。

三つのレベルのアセスメント・ポリシー

(1) 機関レベルのアセスメント・ポリシー

学生の進路状況(就職率、就職満足度等)、資格取得、卒業時アンケート、学習ポートフォリオなどによって、学習成果の総括的な点検・評価を行います。学習成果の質保証を図るための体制を築いているかを確認します。

(2) 教育課程レベルのアセスメント・ポリシー

学科における、単位修得状況、資格取得状況、GPA、学習ポートフォリオ等から教育課程全体を通じた学習成果の達成状況を検証します。それによって学生が適切な学習成果を獲得したかの査定及び期待する学習成果を獲得させるための教授方法などの改善を図ります。

(3) 科目レベルのアセスメント・ポリシー

シラバスにおいて各科目の学習目標、伸長を期待する能力、授業外学習の内容を明確に示し、学期末の授業アンケートの結果を用いて、科目ごとの学習成果の達成状況や能力の伸長、授業外学習について査定します。教員は各科目の目的、授業科目の特性や到達目標などを踏まえて当該科目における学生の達成を評価するための方法をシラバスに具体的に明示し、その方法によって成績評価を行います。その結果、期待する学習成果を獲得させるための教授方法などの改善を図ります。

各時期、各レベルによる学習成果のより具体的なアセスメントの手段について、次の表に示します。

〈時期の区分と検証の方向性〉

入学前・入学直後・・・アドミッション・ポリシーを満たす人材かどうかの検証
在学中・・・学生のカリキュラムの達成度の検証とカリキュラム再編の検討
卒業時・・・ディプロマ・ポリシーに定める能力を身につけさせたかどうかの検証

アセスメントの手段

アセスメントの手段

| | 入学前後 | 在学中 | 卒業時・卒業後 |
|---------|---|--|---|
| 機関レベル | <ul style="list-style-type: none">○各種入学試験○調査書○面接○志願理由書 | <ul style="list-style-type: none">○GPA○取得単位数○学習ポートフォリオ○学位授与数○進路の個人面談記録○幼稚園免許取得数○保育士資格取得数 | <ul style="list-style-type: none">○短期大学生調査○卒業生アンケート○就職先アンケート○学習ポートフォリオ |
| 教育課程レベル | | <ul style="list-style-type: none">○GPA○取得単位数○学習ポートフォリオ○進路の個人面談記録○就職率、進学率○幼稚園免許取得数(○保育士資格取得数)○ゼミ担当面談 | <ul style="list-style-type: none">○履修カルテ○学習ポートフォリオ○学位授与数 |
| 科目レベル | | <ul style="list-style-type: none">○科目成績○授業評価アンケート | |